

新入荷商品のご紹介



杉村 袋帯
上質でしなやかな生地風とかわいらしい色合いの愛らしいデザインが秀逸な袋帯です。
385000円



kimito
帯留め
7700円
七宝の技法を使いおびまわりに華やかさをプラス。抽象的なデザインなのでコーディネートを選ばず、とても重宝します。



衿秀 草履
2023年は魔除けの柄と言われるうろこ柄で足元から運氣アップ！
30000円



印伝 キーケース
5720円
黒地に黒の漆で七宝柄をあしらった、スタイリッシュで都会的なデザインで、和にも洋にもマッチする印伝のキーケースです。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2023年1月号

ごあいさつ



みなさん、あけましておめでとうございます。2023年が始まりました。皆さんはどのようなお正月をすごされましたか？今年は我が家は受験生の娘のためにあまり外出せず、家でゴロゴロ正月を過ごしました。おかげでお腹がパンパン！自分なりの今年の目標は、50歳を前に健康をテーマに運動を心がけ、心身ともに楽しく過ごしていきたいと思えます。

2月の連休

2月7日(火) 8日(水)
2月21日(火) 22日(水)

特集 信州紬の歴史



長野県はかつては国内の養蚕業の国内随一の生産地であり、養蚕と織物、さらには民芸の家具など、日本の伝統工芸を支えてきた地域です。諏訪湖畔の岡谷はかつては生糸生産量が日本一でした。最盛期の大正時代から昭和の初期には240もの製糸工場があったそうです。そして、生糸を製造する過程で、製糸に適さない糸を広げて真綿とし、そこから紡いだ糸は節感のある紬糸としてお蚕さんの恵みを余すところなく生かしたのが紬の織物です。また、この地域は冬は雪深いため、農閑期の産業として徐々に生産量を増して、一大織物王国となりました。くわえて、自然豊かな信州の地はくるみ、クリ、ヤマザクラ、りんごなど天然染料の織物もおおく存在しています。織物の産地としては信州紬として、上田紬、三才山紬、伊那紬、飯田紬などがあります。しかしながら、それぞれの紬の工房も今や数件、伊那紬に至っては以前工房を見させていただいた久保田織染工業一軒だそうです。貴重な技術と文化を残すために我々ができることは何か真剣に考えていきたいですね。

SNSで情報発信中！

かわちやの新着商品や産地のこと
ものづくりの話、竹次郎カフェの
開催日など SNS でも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

https://www.gofuku-kawachiya.co.jp

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539